



昭和60年6月選定

名水所在地／鳥取市用瀬町

清流と流しびなの里

一級河川千代川の用瀬町地区は、急流岩を咬み、古くから格好の鮎釣りの名所であるとともに、県無形文化財「流しびな」の行事が行われる場所として有名である。

この流しびなの風習は古くからあったが、庶民の間で盛んになったのは今からおよそ700年前の室町時代であるといわれている。現在も続けられており、旧暦の3月3日に着飾った少女たちが災厄を人形に託して、ひしもち、あられ、桃の小枝などと一緒川に流すもので、早春の用瀬の風物詩となっている。

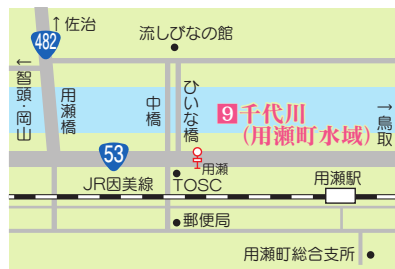
また、盆には、仏送りの行事として、灯籠流しが行われる場所でもある。

昭和63年には県、町並びに県内の木材関連業者が協力して木造建築物と木材の良

さを普及するため、大型純木造施設「流しびなの館」を建設し、館内の展示室には全国の雛人形が常時展示されている。

この「流しびなの館」は、その時代に建造された京都、山荘北山殿の舍利殿（現在の鹿苑寺金閣）をモチーフにしながら、古代から仏教建築のシンボルとして親しまれている塔を融合し、頂部には素朴な流しびなを型どった相輪を乗せている。

また、歩道者専用のひいな橋が架設されている。この橋は、「流しびなの館」や橋のたもとで行う流しびなの民俗行事との調和に配慮した擬宝珠のある赤い高欄にするとともに、センサーによるメロディー装置を設置して、川と緑の自然の中に古くからの伝統美を強調している。



アクセス

- JR因美線「用瀬駅」→徒歩5分

問い合わせ

鳥取市 生活環境課
郵便番号: 680-8571
住所: 鳥取市尚徳町116番地
電話番号: 0857-20-3216

<http://www.city.tottori.tottori.jp/>



昭和60年6月選定

名水所在地／鳥取市佐治町中

自然満喫 山王滝

山王滝水域は、一級河川千代川の支流佐治川を本流とする自然豊かな美しい渓谷で、多数の滝がある中、山王滝は高さ15m、幅4m、上部が浸食により後退し、三段の滝となっている。滝壺は幅20m、奥行き15m、深さ約2mの楕円形である。水量は豊富で、真夏でも肌寒さを感じさせる。

ヤマメ、イワナなどの渓流魚が生息し、上流域にあたる高鉢山にはイヌワシが生息し、シマイヌワラビが自生している。

この一帯は、氷ノ山・後山・那岐山 国定公園に指定され、ふもとのたんぼ

り荘・山王谷キャンプ場からは遊歩道があり、春の新緑、秋の紅葉など四季を通じて自然を楽しむことができる。

『「山王滝」の「ぬし」という大蛇が嵐を呼んで大雨を降らせ、佐治川は氾濫し、川下の百姓は苦しみ泣かされていた。嵐が止んで大雨も治まり青空が見えるようになると、必ず妙齡の美女が一人、蛇の目傘を片手に深々とさして佐治川に沿って奥向きに足早に入っていくのを、何人かの村人が見掛けたが、誰もその美女の素性を知る人はいなかった。』という山王滝のおろち伝説がある。

アクセス

- JR因美線「用瀬駅」下車→バス20分「尾際バス停」下車→徒歩10分(たんぼり荘着)→遊歩道を徒歩15分

問い合わせ

鳥取市 生活環境課
郵便番号: 680-8571
住所: 鳥取市尚徳町116番地
電話番号: 0857-20-3216



<http://www.city.tottori.tottori.jp/>



昭和60年6月選定

名水所在地／倉吉市関金町泰久寺

逆さ大山の映る憩いの水辺

「大山池」は、水田のかんがい用溜め池として造られた貯水溜め池である。

この付近には、大正5年から着工され随時完成した「溜め池」が合計8カ所あるが、この内最大の貯水量を誇るものが「大山池」であり、元の名を「狼谷貯水溜め池」と言い、当初大正13年に完成したものが、昭和18年から2年間で現在の溜池になったと言われている。また、大山と蒜山三座の姿が静かな湖面に映ることから、「大山池」という呼び名が自然についたとも言われている。

周囲1.4km、最大貯水量132万トンの規模を誇る大山池の雄大さと国立公園「大山」の眺望、また、蒜山三座の姿を一目に見ること

ができることから、中国自然歩道のコースとして、休憩所・公衆トイレ、つつじの観賞歩道などが整備されている。

また、この水辺を使って「マリンスポーツ」を取り入れたカヌー、ヨットなどの「艇庫」が整備され、多くのグループ、子ども達が訪れている。

春は桜やつつじの満開、夏はマリンスポーツとキャンプ・ハイキングのメッカに、また秋は付近の山々の紅葉狩り、冬は水面に積った雪と、四季それぞれの楽しみがあり、水辺の近くまで広域農道が整備されていることから、多くのドライバーが立ち寄る倉吉市有数の観光地となっている。

アクセス

- JR山陰線「倉吉駅」→路線バス関金線・明高行「泰久寺バス停」下車→徒歩20分
- 米子道湯原ICより車で40分
- 駐車場あり(約40台駐車可)

問い合わせ

倉吉市支所管理課(関金庁舎内)
郵便番号:682-0402
住所:倉吉市関金町大鳥居193-1
電話番号:0858-45-2111
倉吉市環境課
郵便番号:682-8611
住所:倉吉市葵町722
電話番号:0858-22-8168



<http://www.city.kurayoshi.lg.jp/>



昭和60年6月選定

名水所在地／西伯郡大山町鉾戸1520番地

静寂かつ荘厳な憩いの水辺

大野池は大山町の南西部に位置する豪円山に続く高滝山の山麓、種原にあり、豊富な水量ときれいな水質の湧水をせき止めてできた人工池である。

湖畔は、水際から徐々に野原となって松林に連なり、釣り、ボートなど四季を通して、多くの人々に憩いの水辺として親しまれている。

また、大山の雄姿も眺められる静寂かつ荘厳な独特の雰囲気呈している。

関係住民及び町はもとより、池に隣接するホテルも水環境保全のため、生活排水は池に流入させないよう工夫するなど、水質汚濁防止対策を講じている。

また、古くから種原地区の農業用水として利用され、築堤改修工事を数回実施して水量確保に努めている。

アクセス

- JR「大山口駅」下車→路線バス佐摩大山線「あけまの森バス停」下車→徒歩15分
- 駐車場あり

問い合わせ

大山町 住民生活課
郵便番号:689-3211
住所:西伯郡大山町御来屋328番地
電話番号:0859-54-5210
メールアドレス:juumin@daisen.jp



<http://www.daisen.jp>



昭和60年6月選定

名水所在地／日野郡日野町下黒坂1250

山頂に広がる水鏡の湖

～その水面は空を映し、樹木を映す～

標高400mの高原にある周囲2.3kmの美しい池で、新緑や紅葉のシーズンには、ハイキングをはじめ、鶉の池マラソン大会など人々のふれあいの場となっている。

池を見下ろす、鶉の池公園には、テントサイトのほか、炊事棟、管理棟(要予約)があり、美しい湖畔を眺めながら自然を満喫できる絶好のキャンプ地で、多くの人で賑わっている。

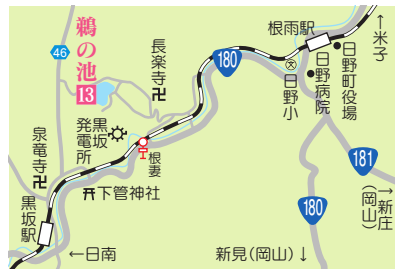
また、周辺は県の鳥であり町の鳥でもあるオシドリなどたくさんの野鳥を観ることができる。

アクセス

- JR伯備線「根雨駅」下車→車で10分もしくは、「黒坂駅」下車→車で5分
- 駐車場あり

問い合わせ

日野町 企画政策課
郵便番号:689-4503
住所:日野郡日野町根雨101番地
電話番号:0859-72-0332



<http://www.town.hino.tottori.jp/>



昭和60年6月選定

名水所在地／東伯郡三朝町大字三徳

歴史の水 三徳山「垢離取川」

三徳山は、今から約1,300年前の慶雲3年(706)に修験道の開祖である、役行者(えんのぎょうじゃ)により開山された修験の山である。

また、鳥取県唯一の国宝建造物『投入堂』をはじめとして、重要文化財指定の文殊堂、地藏堂、納経堂など多数の文化財を有し、国の名勝及び史跡に指定されているほか、全国森林浴の森100選にも選ばれている。三徳山の垢離取川はこれら周辺の雨水を集めて流れる由緒ある谷川である。

上流は、不動明王を祀る「不動滝」(落差約10m)がありこの滝は荘厳な行場とし

て心身の鍛練を行っていたと言われている。

厳格な山岳仏教の修験場である三徳山での修業においては、入峯修行する者は、この川・滝で心身の汚れを浄めてから修行したとされ、参拝者においてもこの水で身を清めて入山した「身清めの滝」とも伝えられている。

平成4年度には、幅員1.0～1.5m、延長140mの遊歩道が整備され、滝の近くまで散策が可能となった。

遊歩道の法面の崩落により、令和3年4月現在通行禁止。

アクセス

- JR山陰本線「倉吉駅」下車→路線バス「三徳山」又は「吉原」行に乗車し、「三徳山参道入口バス停」下車→徒歩5分
- 三朝温泉から鳥取・鹿野方面へ車で約15分
- 駐車場あり(約50台)

問い合わせ

三朝町 教育委員会教育総務課
郵便番号:682-0195
住所:東伯郡三朝町大瀬999-2
電話番号:0858-43-1111(代)



<http://www.town.misasa.tottori.jp/>

名水所在地／東伯郡琴浦町高岡（大熊地区）



昭和60年6月選定

後醍醐天皇にまつわる高岡の天皇水

天皇水は、三方を石垣で囲まれた幅、奥行きとも1mの泉で、澄んだ水が地底から湧き出ている。泉の中央には高さ70cmの細長い石が鎮座、御神体として大切に奉られている。

元弘3年後醍醐天皇によって発見されたと言われている。

『後醍醐天皇は、隠岐から脱出して御来屋に上陸され、名和の豪族名和長年が後醍醐天皇をお迎えして船上山に仮の御所を定められた。このため、隠岐の判官佐々木清高らは約三千人の軍勢で船上山を攻めたが、名和軍はわずかに百人ばかりで奮戦、合戦の末、勝利をおさめた。後醍醐天皇は船上山（標高615m）を下り京都に遷幸された。後醍醐天皇が船上山をおくだりになって大熊集落にさしかかれると、にわか

咽が渴いてきたが、辺りに水がない。そこでそばの大岩を指差され「この岩を起こせば水が湧いて出る」とおおせになった。村人が力をこめて岩を起こすと清水がこんこんと湧いて出た。この清水を天皇水と呼ぶようになった』

この時、大岩を起こしたと伝えられている子孫が天皇水の前に住んでおり、同家には天皇から贈られた茶釜が家宝として大切に保存されている。

地区には後醍醐天皇と「高力」姓にまつわるいわれも残っている。大岩を起こした村人の力に感心された天皇が力持ちを意味する「強力」を姓として名乗ることを許されたのだと言う。村人は「強力」は余りにも恐れ多いとして、「高力」姓を名乗ることにしたと言う。



<http://www.town.kotoura.tottori.jp/>

アクセス

- 山陰道琴浦船上山ICより県道289号線を船上山方面へ。大熊神社付近。琴浦船上山ICより約15分
- 駐車場なし

問い合わせ

琴浦町観光協会

電話番号: 0858-55-7811

琴浦町 商工観光課

郵便番号: 689-2501

住所: 東伯郡琴浦町赤碕1140-1

電話番号: 0858-55-7801

F A X: 0858-55-7558



昭和60年6月選定

名水所在地／西伯郡大山町赤松1700番地85先

女蛇神が住むという伝説の池

赤松の池は大山町の南西部に位置する鍋山麓の赤松集落にあり、周囲4kmに及ぶ池である。

御祭神として豊玉姫命を祭った赤松神社があり、雨ごいや心願成就の神様として地元はもとより、広島、岡山方面からも参拝者が多い。

日照りに雨を降らせる霊験あらたかな水と信じられ、御神酒を池にお供えして、代わりに池の水をいただいて村の水田に持ち帰れば雨が降ると言われ、参拝祈願者が今も絶えない。

また、この池にまつわる伝説もある。「雲州松平侯十八万石の家老で、松江市に住む松浦頼母は子がなく、家系の断絶を憂い困ったあげく、伯耆の国赤松池大明神の霊験あらたかであることを聞き、水ごりをとって月参りをし、子供をさずかるよう祈願していた。すると、夫人が身ごもり、月満ちて容貌美しい女の子が生まれた。……しかしながら、それは赤松の池に住む大蛇が娘に姿を変えたものだった。」

アクセス

- JR「大山口駅」下車→路線バス佐摩大山線「大山寺」下車乗換え、観光道路経由大山線「赤松」下車徒歩10分
- 駐車場あり

問い合わせ

大山町 住民生活課

郵便番号: 689-3211

住所: 西伯郡大山町御来屋328番地

電話番号: 0859-54-5210

メールアドレス: juumin@daisen.jp



<http://www.daisen.jp/>